

月13日、札幌

- 76) 堀弘明、沢村香苗、橋倉都、尾関祐二、岡本長久、大森まゆ、寺田純雄、樋口輝彦、功刀浩：「DEX/CRHテストにおける過抑制とストレスとの関連」、第27回躁うつ病の薬理・生化学的研究懇話会、2008年6月21日、箱根
 - 77) 岡本長久：「職場におけるうつ」、こころの研究科学研究促進事業 市民公開講座講演、2008年10月19日、大阪
 - 78) 岡本長久：「ECTの未来と展望～ケタミンを用いた難治性うつ病のECT」多摩精神科治療懇話会、2009年1月23日、東京
 - 79) Aleksic B, Ikeda M, Ishihara R, Saito S, Inada T, Iwata N, Ozaki N: No Association Between Oligodendrocyte Related Gene PLP1 and Schizophrenia in the Japanese Population. 16th WCPG, 2008 大阪 10/11-15
 - 80) Aleksic B, Ikeda M, Ishihara R, Takahashi N, Saito S, Matsumoto A, Inada T, Iidaka T, Iwata N, Ozaki N: Gap Junctions, Bipolar Disorder and Schizophrenia: Genetic association Study. 第31回神経科学会, 2008 東京 7/9-11
 - 81) 伊藤圭人, 真之亮 山, 高橋長秀, 齋藤真一, 陽吉, 稲田俊也, 幸裕 野, 尾崎紀夫: PTPRZ1と統合失調症との関連解析. 統合失調症学会, 2008 東京 3/14-15
 - 82) 関口裕孝, 羽瀨知加子, 入谷修司, 田谷真一郎, 貝瀨弘三, 尾崎紀夫: 統合失調症モデルマウスにおける組織学的検討 -予備的実験-. 第2回アジア・太平洋生物学的精神医学会・第30回日本生物学的精神医学会, 2008 富山、9/10-12
 - 83) 羽瀨知可子, 関口裕孝, 鳥居洋太, 入谷修司, 石原良子, 新井哲明, 長谷川成人, 柴山漢人, 尾崎紀夫: Clinical symptoms and neuropathology of Diffuse neurofibrillary tangles with calcification ~TDP-43 proteinopathy and α -synucleinopathy of limbic lesion in 7cases~. 日本認知症学会, 2008、前橋、10/10-12
- 【平成21年度】
- 1) Hashimoto R, Takamura H, Ohi K, Fukumoto M, Yamamori H, Yasuda Y, Takeda M, Dysbindin and drug development for schizophrenia. The 1st Asian Workshop on Schizophrenia Research, Osaka, Japan, January 31st - February 1st (1st), 2009.
 - 2) Azechi M, Iwase M, Ikezawa K, Takahashi H, Canuet L, Kurimoto R, Nakahachi T, Ishii R, Fukumoto M, Ohi K, Yasuda Y, Kazui H, Hashimoto R, Takeda M. Discriminant analysis in schizophrenia and healthy subjects on prefrontal activation measures using NIRS during frontal lobe tasks. The 1st Asian Workshop on Schizophrenia Research, Osaka, Japan, January 31st - February 1st (31st), 2009.
 - 3) Takahashi H, Iwase M, Canuet L, Yasuda Y, Ohi K, Fukumoto M, Iike N, Nakahachi T, Ikezawa K, Azechi M, Kurimoto R, Ishii R, Yoshida T, Kazui H, Hashimoto R, Takeda M. IMPAIRED PREPULSE INHIBITION OF ACOUSTIC STARTLE RESPONSE IN JAPANESE PATIENTS WITH SCHIZOPHRENIA. The 1st Asian Workshop on Schizophrenia Research, Osaka, Japan, January 31st - February 1st (1st), 2009.
 - 4) 中江文、橋本亮太、前田尚吾、福本素由己、大井一高、山森英長、安田由華、酒井規広、奥知子、石垣尚一、柴田政彦、武田雅俊、眞下節、統合失調症患者の痛覚閾値、第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(27), 2010.
 - 5) 福本素由己、橋本亮太、安田由華、大井一高、高橋秀俊、山森英長、井池直美、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、統合失調症における Remission の研究、第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(27), 2010.
 - 6) Teraishi T, Fujii T, Uchiyama H, Yamamoto N, Iijima Y, Hori H, Hattori K, Hashimoto R, Matuso J, Kawamoto Y, Kinoshita Y, Kunugi H. Association analysis of the phenylalanine hydroxylase and 6-pyruvoyl tetrahydropterin synthase genes with schizophrenia and cognitive functions. 第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(27), 2010.
 - 7) Hattori K, Iijima Y, Uchiyama H, Yamamoto N, Fujii T, Hashimoto R, Hori H, Teraishi T, Kinoshita Y, Matsuo J, Kawamoto Y, Arima

- K, Kunugi H. Genetic variations of fyn-tyrosine kinase and schizophrenia. 第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(27), 2010.
- 8) 有波忠雄、石黒浩毅、功刀浩、佐々木司、氏家寛、染矢俊幸、渡部雄一郎、橋本亮太、MTHFR 遺伝子多型と統合失調症との関連、第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(27), 2010.
- 9) Takamura H, Hashimoto R, Shintani N, Matsuzaki S, Haba R, Yasuda Y, Ohi K, Fukumoto M, Yamamori H, Hashimoto H, Baba A, Takeda M. Behavioral analysis of mice overexpressing dysbindin-1, a susceptibility gene for schizophrenia. 第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(27), 2010.
- 10) Hashimoto R, Ohi K, Yasuda Y, Fukumoto M, Yamamori H, Takahashi H, Saitoh O, Tatsumi M, Iwata N, Ozaki N, Kamijima K, Kunugi H, Takeda M. RELA Gene is associated with risk for schizophrenia and deficits in prepulse inhibition. 第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(27), 2010.
- 11) 岩瀬真生、疇地道代、池澤浩二、石井良平、高橋秀俊、中鉢貴行、レオニデスカヌエト、数井裕光、福本素由己、大井一高、安田由華、橋本亮太、武田雅俊、2ch-NIRS による複数の前頭葉課題試行中の酸化Hb濃度の賦活曲線特性-統合失調症と健常者の比較、第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(27), 2010.
- 12) Ohi K, Hashimoto R, Yasuda Y, Yamamori H, Hori H, Saitoh O, Tatsumi M, Takeda M, Iwata N, Ozaki N, Kamijima K, Kunugi H. No association between the *Bcl2-interacting killer (BIK)* gene and schizophrenia. 第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(26), 2010.
- 13) 山森英長、橋本亮太、高村明孝、Louise Verrall、安田由華、大井一高、福本素由己、伊藤彰、武田雅俊、統合失調症患者由来のリンパ芽球における、統合失調症関連遺伝子、Dysbindin1、NRG1、の発現、第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(26), 2010.
- 14) 新井誠、糸川昌成、吉川武男、有波忠雄、氏家寛、尾崎紀夫、橋本亮太、功刀浩、笠井清人、橋本謙二、森則夫、岩田仲生、岡崎祐士、宮田敏男、統合失調症の病態におけるカルボニルストレス代謝制御に関する研究、第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(26), 2010.
- 15) 井池直美、橋本亮太、安田由華、大井一高、高村明孝、福本素由己、川崎康、高橋秀俊、岩瀬真生、数井裕光、井村修、武田雅俊、統合失調症患者の論理記憶障害と生活の質に関する検討、第五回日本統合失調症学会、博多、3.26-27(26), 2010.
- 16) 橋本亮太、座長、Naveed Iqbal 講演会、大阪、3.16, 2010.
- 17) 池澤浩二、石井良平、岩瀬真生、Leonides Canuet、栗本龍、高橋秀俊、中鉢貴行、疇地道代、大井一高、福本素由己、高村明孝、安田由華、井池直美、高屋雅彦、数井裕光、橋本亮太、吉峰俊樹、武田雅俊、統合失調症患者の作業記憶課題時におけるガンマ帯域の脳磁場活動変化に関する検討、第32回Fmθ研究会、大阪、2.27, 2010.
- 18) Hashimoto R, Ohi K, Yasuda Y, Fukumoto M, Yamamori H, Takahashi H, Tanimukai H, Tagami S, Morihara T, Okochi M, Okochi T, Tanaka T, Kudo T, Kazui H, Saitoh O, Tatsumi M, Iwata N, Ozaki N, Kamijima K, Kunugi H, Takeda M. *RELA* Gene is associated with risk for schizophrenia and deficits in prepulse inhibition. 第17回精神行動遺伝学会、大阪、2.11, 2010.
- 19) 安田由華、橋本亮太、山森英長、大井一高、福本素由己、高村明孝、毛利育子、谷池雅子、武田雅俊、広汎性発達障害におけるリンパ芽球を用いたmRNA発現定量解析についての検討、第17回精神行動遺伝学会、大阪、2.11, 2010.
- 20) 大井一高、橋本亮太、安田由華、吉田哲彦、高橋秀俊、井池直美、岩瀬真生、紙野晃人、石井良平、数井裕光、福本素由己、高村明孝、山森英長、疇地道代、池澤浩二、谷向仁、田上真次、森原剛史、大河内正康、山田和男、沼田周助、池田匡志、田中稔久、工藤喬、上野修一、吉川武男、大森哲郎、岩田仲生、尾崎紀夫、武田雅俊、*CH13L1* 遺伝子多型は統合失調症のリスク及びTCIによる人格傾向と関連する；日本人患者対照研究及びメタ解析か

- らのエビデンス、第 17 回精神行動遺伝学会、大阪、2. 11, 2010.
- 21) 福本素由己、橋本亮太、安田由華、大井一高、高橋秀俊、高村明孝、山森英長、井池直美、数井裕光、岩瀬真生、武田雅俊、統合失調症における Remission の研究、第 17 回精神行動遺伝学会、大阪、2. 11, 2010.
 - 22) 山森英長、橋本亮太、高村明孝、Louise Verrall、安田由華、大井一高、福本素由己、伊藤彰、武田雅俊、統合失調症患者由来のリンパ芽球における、統合失調症関連遺伝子の発現解析、第 17 回精神行動遺伝学会、大阪、2. 11, 2010.
 - 23) 橋本亮太、統合失調症の中間表現型を用いた遺伝子解析研究—神経生理機能に着目して—、第 6 回統合失調症研究会、東京、2. 7, 2010.
 - 24) 橋本亮太、「第 4 回報告と阪大精神科における統合失調症の臨床と研究」、The 5th meeting Consider the Ability of Discharged Patients”、大阪、2. 2, 2010.
 - 25) 青木保典、橋本亮太、武田 雅俊、家族関係の困難さから治療開始まで 10 年かかった児童期発症の家族性統合失調の 1 例、第 7 回大阪中央精神科症例検討会、大阪、1. 21, 2009.
 - 26) 橋本亮太、統合失調症の中間表現型解析-NIRS による診断法の開発と脆弱性遺伝子 ZNF804A と記憶機能の関連—、平成 21 年度厚生労働科学研究・こころの健康科学研究事業・武田班班会議「精神疾患脆弱性遺伝子と中間表現型に基づく新しい診断法・治療法の開発に関する研究」、大阪、1. 12, 2010.
 - 27) 橋本亮太、高村明孝、高雄啓三、服部聡子、安田由華、大井一高、福本素由己、井池直美、山森英長、功刀浩、宮川剛、武田雅俊、統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジンの遺伝子改変動物による分子病態研究、統合脳 5 領域「平成 21 年度 冬の合同班会議」、東京、12. 17-19(19), 2009.
 - 28) Ryota Hashimoto, Neurobiology of Mental disorders, Symposium “Glial cells and brain disorders” Invitation Program for Advanced research Institutions in Japan, November 26, 2009, Okazaki, Japan.
 - 29) 橋本亮太、統合失調症、宝塚市障害者自立生活支援センター講演会、宝塚、11. 21, 2009.
 - 30) 橋本亮太、安田由華、大井一高、福本素由己、高村明孝、山森英長、高雄啓三、大和谷厚、遠山正彌、宮川剛、武田雅俊、統合失調症リスク遺伝子と神経可塑性：抗精神病薬の創薬ターゲット分子、第 19 回日本臨床精神神経薬理学会・第 39 回日本神経精神薬理学会合同年会、京都、11. 13-15(13), 2009.
 - 31) 大井一高、橋本亮太、高村明孝、安田由華、福本素由己、山森英長、高橋秀俊、井池直美、紙野晃人、吉田哲彦、疇地道代、池澤浩二、谷向仁、田上真次、森原剛史、大河内正康、田中稔久、工藤喬、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、統合失調症患者における AKT1 遺伝子と注意機能の関連、第 9 回精神疾患と認知機能研究会、東京、11. 7, 2009.
 - 32) 橋本亮太、安田由華、大井一高、福本素由己、高橋秀俊、高村明孝、山森英長、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、阪大病院神経科・精神科における「統合失調症専門外来」について、第 9 回精神疾患と認知機能研究会、東京、11. 7, 2009.
 - 33) 橋本亮太、田谷真一郎、武田雅俊、貝淵弘三、精神疾患のプロテオミクス、第 5 回プロテオミクス・構造生物学講演会、東京、11. 2-3(3), 2009.
 - 34) 山森英長、橋本亮太、高村明孝、Louise Verrall、安田由華、大井一高、福本素由己、武田雅俊、伊藤彰、統合失調症患者由来のリンパ芽球における、統合失調症関連遺伝子、Dysbindin1、NRG1、の発現、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10. 31-11. 1(10. 31), 2009.
 - 35) 安田由華、橋本亮太、大井一高、福本素由己、高村明孝、武田雅俊、精神科における広汎性発達障害日本自閉症協会評定尺度 (PARS) の有用性についての予備的検討、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10. 31-11. 1(10. 31), 2009.
 - 36) 高橋秀俊、岩瀬真生、レオニデスカヌエト、安田由華、大井一高、福本素由己、井池直美、池澤浩二、疇地道代、栗本龍、中鉢貴行、石井良平、吉田哲彦、数井裕光、橋本亮太、武田雅俊、Prepulse Inhibition と Schizotypal Personality との関連について、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10. 31-11. 1(10. 31), 2009.

- 37) 大井一高、橋本亮太、安田由華、井池直美、高橋秀俊、森原剛史、石井良平、田上真次、岩瀬真生、大河内正康、紙野晃人、数井裕光、田中稔久、工藤喬、武田雅俊、TBP 遺伝子における CAG リピート長と統合失調症発症のリスクおよび前頭葉機能との関連、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(10.31), 2009.
- 38) 橋本亮太、大井一高、須貝文宣、安田由華、田上真次、高村明孝、森原剛史、大河内正康、田中稔久、工藤喬、佐古田三郎、武田雅俊、精神障害に続発した遺伝性脊髄小脳変性症の 2 例、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(10.31), 2009.
- 39) 中山泰亮、大河内正康、田上真次、児玉高志、柳田寛太、辰巳真一、森康治、谷向仁、橋本亮太、森原剛史、田中稔久、工藤喬、武田雅俊、Wnt シグナル経路に關与する新規 presenilin 様タンパク質の探索、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(10.31), 2009.
- 40) 辰巳真一、大河内正康、田上真次、柳田寛太、中山泰亮、児玉高志、森康治、田中稔久、橋本亮太、森原剛史、谷向仁、工藤喬、武田雅俊、培養細胞における膜貫通型 NRG1 の段階的タンパク分解によって産生される A β 様ペプチドの同定、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(10.31), 2009.
- 41) 児玉高志、大河内正康、田上真次、中山泰亮、柳田寛太、辰巳真一、森康治、谷向仁、橋本亮太、森原剛史、田中稔久、工藤喬、武田雅俊、LC/MS/MS を用いた脳脊髄液及び末梢血中での APL1 β の同定と定量、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(10.31), 2009.
- 42) 柳田寛太、大河内正康、田上真次、中山泰亮、児玉高志、西富晃平、姜経緯、森康治、辰巳真一、数井裕光、田中稔久、森原剛史、橋本亮太、工藤喬、武田雅俊、APLP1 由来の A β 様ペプチド APL1 β 28 は中枢神経における A β 42 産生の代替マーカーである、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(10.31), 2009.
- 43) 岩瀬真生、疇地道代、池澤浩二、石井良平、高橋秀俊、中鉢貴行、レオニデスカヌエト、栗本龍、数井裕光、福本素由己、井池直美、大井一高、安田由華、橋本亮太、武田雅俊、近赤外分光法による組織酸素化指標を用いた統合失調症の前頭低活性の検討、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(10.31), 2009.
- 44) 高村明孝、橋本亮太、大井一高、安田由華、福本素由己、高橋秀俊、吉田哲彦、井池直美、山森英長、紙野晃人、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、AKT1 遺伝子多型と注意機能の関連、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(10.31), 2009.
- 45) 疇地道代、岩瀬真生、池澤浩二、レオニデスカヌエト、高橋秀俊、中鉢貴行、石井良平、高村明孝、井池直美、福本素由己、大井一高、安田由華、橋本亮太、武田雅俊、NIRS を用いた大うつ病性障害の前頭葉機能と局所脳血流量変化の検討、第 16 回日本未病システム学会、大阪、10.31-11.1(11.1), 2009.
- 46) 池澤浩二、石井良平、岩瀬真生、栗本龍、カヌエトレオニデス、高橋秀俊、中鉢貴行、疇地道代、大井一高、福本素由己、高村明孝、安田由華、井池直美、高屋雅彦、数井裕光、橋本亮太、吉峰俊樹、武田雅俊、統合失調症患者の作業記憶課題時における脳磁場活動変化に関する検討、第 39 回日本臨床神経生理学会学術大会、北九州、11.18-20(19), 2009.
- 47) 岩瀬真生、疇地道代、池澤浩二、石井良平、高橋秀俊、中鉢貴行、カヌエトレオニデス、栗本龍、数井裕光、福本素由己、井池直美、大井一高、安田由華、橋本亮太、武田雅俊、2 ch-NIRS による前頭葉課題施行中の酸化ヘモグロビン濃度の賦活曲線特性- 統合失調症と健常者の比較、第 39 回日本臨床神経生理学会学術大会、北九州、11.18-20(18), 2009.
- 48) Hashimoto R, Yasuda Y, Ohi K, Fukumoto M, Takamura H, Yamamori H, Takahashi H, Takao K, Miyakawa T, Ishii R, Iwase M, Kazui H, Takeda M. New approach to elucidate human brain function and its molecular basis: Human Brain Phenotype Consortium, 第 32 回日本神経科学大会、名古屋、9.16-18, 2009.

- 49) Ohi K, Hashimoto R, Yasuda Y, Takahashi H, Iike N, Iwase M, Kamino K, Kazui H, Takamura H, Fukumoto M, Yamamori H, Yamada K, Numata S, Ikeda M, Kudo T, Ueno S, Yoshikawa T, Ohmori T, Iwata N, Ozaki N, Takeda M. Promoter variant in the Chitinase 3-like 1 gene is associated with risk for schizophrenia and personality trait, 第 32 回日本神経科学大会、名古屋、9.16-18(16), 2009.
- 50) Takamura H, Hashimoto R, Shintani N, Haba R, Yasuda Y, Ohi K, Fukumoto M, Yamamori H, Hashimoto H, Baba A, Takeda M. Behavioral analysis of transgenic mouse overexpressing dysbindin-1, a susceptibility gene for schizophrenia, 第 32 回日本神経科学大会、名古屋、9.16-18(16), 2009.
- 51) Iwase M, Azechi M, Ikezawa K, Ishii R, Leonides C, Kurimoto R, Takahashi H, Nakahachi T, Kazui H, Fukumoto M, Iike N, Ohi K, Yasuda Y, Hashimoto R, Takeda M. Hypofrontality in schizophrenia detected by the measurement of tissue oxygenation index using NIRS, 第 32 回日本神経科学大会、名古屋、9.16-18(18), 2009.
- 52) Hashimoto R, Yasuda Y, Ohi K, Fukumoto M, Takamura H, Yamamori H, Takahashi H, Takao K, Miyakawa T, Ishii R, Iwase M, Kazui H, Takeda M. New approach to elucidate human brain function and its molecular basis: Human Brain Phenotype Consortium. 第 4 回 MCCS-Asia シンポジウム、名古屋、9.15, 2009.
- 53) 橋本亮太、森本一成、座長、The 4th meeting “Consider the Ability of Discharged Patients”、大阪、9.9, 2009.
- 54) 橋本亮太、統合失調症の遺伝子解析研究の現状と展望、平成 21 年度第 2 回 (社) 大阪精神科診療所協会学術研究会、9.5, 2009.
- 55) 橋本亮太、安田由華、大井一高、福本素由己、高村明孝、山森英長、高橋秀俊、高雄啓三、宮川剛、岩瀬真生、石井良平、数井裕光、武田雅俊、ヒトにおける脳表現型の分子機構の解明：ヒト脳表現型コンソーシアムについて、統合脳 5 領域「平成 21 年度 夏の合同班会議」、札幌、8.9-12(10), 2009.
- 56) 宮田信吾、橋本亮太、嶽本香菜、吉川景子、遠山正彌、精神疾患発症機構への micro RNA の関与、日本自立神経学会総会、和歌山、11.5-6(5), 2009.
- 57) 児玉高志、大河内正康、田上真次、柳田寛太、中山泰亮、辰巳真一、森康治、谷向仁、橋本亮太、森原剛史、田中稔久、工藤喬、武田雅俊、微量脳内ペプチドリストの作成、第 28 回日本認知症学会学術集会 11、仙台、11.20-21(20), 2009.
- 58) 辰巳真一、大河内正康、田上真次、Willem Michael, Munich Deu、柳田寛太、中山泰亮、児玉高志、森康治、Fleck Daniel、田中稔久、橋本亮太、森原剛史、谷向仁、工藤喬、武田雅俊、プレセニン/γ セクレターゼによるニューレグリン-1 の蛋白質分解の解析、第 28 回日本認知症学会学術集会、仙台、11.20-21(20), 2009.
- 59) 橋本亮太、安田由華、大井一高、福本素由己、高橋秀俊、高村明孝、山森英長、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、阪大病院神経科・精神科における「統合失調症専門外来」について、第 6 回大阪南部精神科症例検討会、大阪、7.30, 2009.
- 60) 中島淑貴、橋本亮太、武田雅俊、三十五年目に病識の出現した統合失調症の一例、第 105 回近畿精神神経学会、大阪、7.18, 2009.
- 61) 橋本亮太、安田由華、大井一高、福本素由己、高橋秀俊、高村明孝、山森英長、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、阪大病院神経科・精神科における「統合失調症専門外来」について、第 6 回大阪中央精神科症例検討会、大阪、7.8, 2009.
- 62) 宮田信吾、橋本亮太、遠山正彌、遠山正彌、micro RNA による神経細胞成熟化機構の解析、第 11 回 RNA ミーティング (第 11 回日本 RNA 学会年会)、新潟、7.27-29(27), 2009.
- 63) Hashimoto R, Ohi K, Yasuda Y, Fukumoto M, Takamura H, Yamamori H, Takeda M, シンポジウム：精神・神経・筋疾患のトランスレーショナルリサーチ、「統合失調症とディスバイジン」、第 52 回日本神経化学学会大会、伊香保、6.22-24(24), 2009.

- 64) 橋本亮太、辻省次、座長、シンポジウム：精神・神経・筋疾患のトランスレーショナルリサーチ、第52回日本神経化学学会大会、伊香保、6.22-24(24), 2009.
- 65) 橋本亮太、安田由華、大井一高、福本素己、高村明孝、高橋秀俊、山森英長、武田雅俊、日本生物精神医学会合同シンポジウム：中間表現型を用いた精神疾患脆弱性遺伝子の同定、第52回日本神経化学学会大会、伊香保、6.22-24(23), 2009.
- 66) Yasuda Y, Hashimoto R, Ohi K, Takamura H, Fukumoto M, Takahashi, Yoshida T, Iike N, Yamamori H, Morihara T, Tagami S, Okochi M, Tanaka T, Kudo T, Kamino K, Ishii R, Iwase M, Kazui H, Takeda M. A genetic variation of the KIBRA gene is associated with memory performance in Japanese healthy subjects. 第52回日本神経化学学会(伊香保)大会、第52回日本神経化学学会大会、伊香保、6.22-24(23), 2009.
- 67) 橋本亮太、安田由華、西村章、山森英長、大井一高、福本素由己、高村明孝、高橋秀俊、毛利育子、伊藤彰、谷池雅子、松本直通、武田雅俊、広汎性発達障害の遺伝子研究の到達点、日本脳科学会、06.12-13(13), 2009.
- 68) 安田由華、橋本亮太、大井一高、高村明孝、福本素己、高橋秀俊、吉田哲彦、井池直美、山森英長、紙野晃人、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、Kibra 遺伝子の遺伝子多型と日本人における記憶の関連について、日本脳科学会、06.12-13(13), 2009.
- 69) 池澤浩二、石井良平、栗本龍、Leonides Canuet、岩瀬真生、高橋秀俊、中鉢貴行、疇地道代、大井一高、福本素由己、高村明孝、安田由華、高屋雅彦、数井裕光、橋本亮太、吉峰俊樹、武田雅俊、統合失調症の安静開閉眼時における律動脳磁場活動変化の検討、第24回日本生体磁気学会、金沢、5.28-29(28), 2009.
- 70) 匹田貴夫、田谷真一郎、藤野泰孝、橋本亮太、貝淵弘三、統合失調症関連蛋白質 dysbindin の新規結合パートナーのプロテオーム解析による解明(Proteomic analysis reveals novel binding partners of dysbindin, a schizophrenia-related protein) (英語)(会議録)、第61回日本細胞生物学会大会、名古屋、6.2-4(2), 2009.
- 71) 橋本亮太、安田由華、西村章、山森英長、大井一高、福本素由己、高村明孝、高橋秀俊、毛利育子、伊藤彰、谷池雅子、松本直通、武田雅俊、シンポジウム：広汎性発達障害の遺伝子研究はどこまで到達したか?、第31回日本生物学的精神医学会、京都、4.23-25(23), 2009.
- 72) 橋本亮太、糸原重美、座長、一般口演「動物モデル」、第31回日本生物学的精神医学会、京都、4.23-25(23), 2009.
- 73) 橋本亮太、高雄啓三、服部聡子、室谷知孝、遠山桂子、中西和男、松崎伸介、石塚智子、熊本奈都子、高村明孝、大井一高、福本素由己、山森英長、安田由華、遠山正彌、大和谷厚、功刀浩、宮川剛、武田雅俊、統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジンと記憶との関連：ヒトと動物モデルの表現型の検討、第31回日本生物学的精神医学会、京都、4.23-25, 2009.
- 74) 大井一高、橋本亮太、安田由華、高村明孝、福本素由己、山森英長、高橋秀俊、吉田哲彦、井池直美、岩瀬真生、紙野晃人、石井良平、数井裕光、疇地道代、池澤浩二、谷向仁、田上真次、森原剛史、大河内正康、沼田周助、池田匡志、上野修一、田中稔久、工藤喬、大森哲郎、岩田仲生、尾崎紀夫、武田雅俊、CHI3L1 遺伝子プロモーター領域多型と統合失調症のリスク及び性格傾向の関連、第31回日本生物学的精神医学会、京都、4.23-25(24), 2009.
- 75) 福本素由己、橋本亮太、安田由華、大井一高、高橋秀俊、山森英長、高村明孝、井池直美、畦地道代、池澤浩二、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、統合失調症における Remission の研究、第31回日本生物学的精神神経学会、京都、4.23-25(24), 2009.
- 76) 安田由華、橋本亮太、大井一高、高村明孝、福本素由己、高橋秀俊、吉田哲彦、井池直美、山森英長、紙野晃人、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、KIBRA 遺伝子の遺伝子多型と日本人統合失調症患者における記憶の関連について、第31回日本生物学的精神医学会、京都、4.23-25(24), 2009.
- 77) 畦地道代、岩瀬真生、池澤浩二、Canuet Leonides、栗本龍、高橋秀俊、中鉢貴行、石井良平、井池直美、福本素由己、大井一高、安田由華、橋本亮太、武田雅俊、NIRS を用い

- た大うつ病性障害の前頭葉機能と局所脳血流変化の検討、第31回日本生物学的精神医学会、京都、4.23-25(24), 2009.
- 78) 橋本亮太、安田由華、武田雅俊、子どもの『精神障害』への支援、大阪府学校保健会養護教諭部会講演会、大阪、3.5, 2009.
- 79) 池澤浩二、石井良平、栗本龍、Leonides Canuet、岩瀬真生、高橋秀俊、中鉢貴行、疇地道代、大井一高、福本素由己、高村明孝、安田由華、吉田哲彦、高屋雅彦、数井裕光、橋本亮太、吉峰俊樹、武田雅俊、統合失調症患者の安静開閉眼時における律動脳磁場活動変化の検討、第31回 Fmθ 研究会、大阪、2.28, 2009.
- 80) 木村宏明、橋本亮太、武田雅俊、アリピプラゾールが有効であった難治性統合失調症の一例、第104回近畿精神神経学会、大阪、2.14, 2009.
- 81) 欠田恭輔、安田由華、橋本亮太、福本素由己、武田雅俊、神経性食思不振症様の症状を呈した統合失調症の一例、第104回近畿精神神経学会、大阪、2.14, 2009.
- 82) 橋本亮太、安田由華、大井一高、吉田哲彦、福本素由己、高村明孝、高橋秀俊、井池直美、工藤喬、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、シンポジウム：統合失調症の未病と予防「統合失調症未病と広汎性発達障害との類似点と相違点」、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(31), 2009.
- 83) 岩瀬真生、石井良平、高橋秀俊、疇地道代、池澤浩二、Canuet Leonides、栗本龍、中鉢貴行、橋本亮太、安田由華、数井裕光、武田雅俊、シンポジウム：統合失調症の軽症化「生理的マーカーによる軽症化の検出は可能か？」日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(31), 2009.
- 84) 数井裕光、木藤友実子、高屋雅彦、徳永博正、安田由華、橋本亮太、岩瀬真生、石井良平、森原剛史、田上真次、田中稔久、工藤喬、武田雅俊、シンポジウム：高齢化する統合失調症への対応「高齢統合失調症と認知症—認知機能障害の観点からの鑑別—」、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 85) 大井一高、橋本亮太、安田由華、高村明孝、高橋秀俊、岩瀬真生、紙野晃人、数井裕光、沼田周助、上野修一、岩田仲生、尾崎紀夫、武田雅俊、CHI3L1 遺伝子プロモーター領域多型と統合失調症のリスク及び性格傾向の関連、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 86) 福本素由己、橋本亮太、安田由華、大井一高、高橋秀俊、山森英長、高村明孝、井池直美、畦地道代、池澤浩二、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、統合失調症における Remission の研究、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 87) 池澤浩二、石井良平、栗本龍、Canuet Leonides、岩瀬真生、高橋秀俊、中鉢貴行、疇地道代、高屋雅彦、数井裕光、橋本亮太、吉峰俊樹、武田雅俊、統合失調症患者における安静開閉眼時の律動脳磁場活動の変化に関する検討、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 88) 高橋秀俊、岩瀬真生、レオニデスカヌエト、安田由華、大井一高、福本素由己、井池直美、池澤浩二、疇地道代、栗本龍、中鉢貴行、石井良平、吉田哲彦、数井裕光、橋本亮太、武田雅俊、健常者における聴覚性驚愕反射の Prepulse Inhibition と Schizotypal Personality との関連について、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 89) 長谷川千洋、吉田哲彦、橋本亮太、井池直美、喜多村由里、岩瀬真生、数井裕光、博野信次、山鳥重、武田雅俊、WMS-R 論理記憶課題における統合失調症の文章記憶の検討、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 90) 疇地道代、岩瀬真生、池澤浩二、Canuet Leonides、栗本龍、高橋秀俊、中鉢貴行、石井良平、福本素由己、井池直美、大井一高、安田由華、数井裕光、橋本亮太、武田雅俊、近赤外線スペクトロスコピー (NIRS) を用いた統合失調症患者と健常対象者との正判別率、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 91) 池澤浩二、岩瀬真生、疇地道代、石井良平、大井一高、安田由華、井池直美、栗本龍、Canuet Leonides、高橋秀俊、中鉢貴行、橋本亮太、武田雅俊、近赤外線スペクトロスコピーを用い

- た統合失調症患者における前頭葉機能障害と局所脳血液量変化の検討、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 92) 岩瀬真生、疇地道代、池澤浩二、石井良平、Canuet Leonides、栗本龍、高橋秀俊、中鉢貴行、数井裕光、福本素由己、井池直美、大井一高、安田由華、橋本亮太、武田雅俊、NIRSによる組織酸素化指標を用いた統合失調症の前頭低活性の検討、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 93) 栗本龍、石井良平、池澤浩二、Canuet Leonides、岩瀬真生、疇地道代、高橋秀俊、中鉢貴行、福本素由己、大井一高、井池直美、安田由華、橋本亮太、吉峰俊樹、武田雅俊、統合失調症における記憶課題時の脳磁場活動の変化、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 94) 関山隆史、岩瀬真生、高橋秀俊、中鉢貴行、高橋清武、疇地道代、池澤浩二、栗本龍、Canuet Leonides、吉田哲彦、橋本亮太、石井良平、武田雅俊、慢性統合失調症患者における情動顔および中性顔の認知の特徴、その社会機能との関連、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(30), 2009.
- 95) 橋本亮太、服部聡子、室谷知孝、松崎伸介、石塚智子、熊本奈都子、高村明孝、大井一高、安田由華、遠山正彌、大和谷厚、功刀浩、武田雅俊、統合失調症脆弱性遺伝子ディスプレイ欠損マウスの行動解析、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(31), 2009.
- 96) 安田由華、橋本亮太、大井一高、高村明孝、福本素由己、高橋秀俊、吉田哲彦、井池直美、紙野晃人、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、KIBRA 遺伝子の遺伝子多型と日本人統合失調症患者における記憶の関連について、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(31), 2009.
- 97) 高雄啓三、遠山桂子、中西和男、服部聡子、高村明孝、武田雅俊、宮川剛、橋本亮太、Impaired long-term memory retention and working memory in sdy mutant mice with a deletion in Dtnbpl, a susceptibility gene for schizophrenia、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(31), 2009.
- 98) 高村明孝、橋本亮太、大井一高、安田由華、福本素由己、高橋秀俊、吉田哲彦、井池直美、紙野晃人、石井良平、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊、統合失調症脆弱性遺伝子 AKT1 と注意機能の関連、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(31), 2009.
- 99) 高屋雅彦、木藤友実子、和田民樹、安田由華、橋本亮太、徳永博正、数井裕光、武田雅俊、統合失調症疑いの患者に正常圧水頭症が合併した症例、日本統合失調症学会第4回大会、大阪、1.30-31(31), 2009.
- 100) 橋本亮太、田谷真一郎、武田雅俊、貝淵弘三、統合失調症脆弱性遺伝子 dysbindin とその機能ープロテオミクス技術を用いた検討ー、第4回プロテオミクス・構造生物学講演会、岡崎、1.30-31(30), 2009.
- 101) 橋本亮太、統合失調症脆弱性遺伝子 CHI3L1 の中間表現型解析と統合失調症の Remission を予測する中間表現型の同定、平成20年度厚生労働科学研究・こころの健康科学研究事業・武田班班会議「精神疾患脆弱性遺伝子と中間表現型に基づく新しい診断法・治療法の開発に関する研究」、大阪、1.20, 2009.
- 102) 岡本長久：「うつってなあに？」看護の日公開記念講演、2009年5月26日
- 103) 岡本長久：「楽に生きるためのヒント」第13回精神保健福祉を考えるつどい、2009年11月28日、東京
- 104) Ito Y, Shinnosuke Yamada BA, Itaru Kushima, Yukako Nakamura, Akira Yoshimi, Taku Nagai, Yukihiro Noda, Kinji Ohno, Norio Ozaki: ANALYSES OF GENE EXPRESSION PROFILE AND ABERRANT SPLICING IN SCHIZOPHRENIA USING EXON ARRAY, in XVII World Congress on Psychiatric Genetics (WCPG). San Diego, California, USA, 2009
- 105) Yoshimi A, Nagai T, Yamada S, Ishihara R, Ohashi M, Ito Y, Noda Y, Yamada K, Ozaki N: PROTEOMIC ANALYSIS OF THE LYMPHOBLASTOID CELL LINE IN THE JAPANESE SCHIZOPHRENIC PATIENTS, in XVII World Congress on Psychiatric Genetics (WCPG). San Diego, California, USA, 2009
- 106) Shinnosuke Yamada YI, Branko Aleksic, Itaru Kushima, Yukako Nakamura, Akira Yoshimi, Taku Nagai, Yukihiro Noda, Kinji Ohno, Norio Ozaki: Genome-wide Analysis of Gene Expression Profile and Transcript

- Isoform Variation in Schizophrenia, in The 1st Meeting of the Asian College on Neuropsychopharmacology. Kyoto, 2009
- 107) Ozaki N: DISC1-interacting molecule and schizophrenia, in 9th World Congress of Biological Psychiatry: Symposium Genetic strategies in the search for genes in schizophrenia. Paris, France, 2009
- 108) Nakamura Y, Ito Y, Aleksic B, Kushima I, Yasui-Furukori N, Inada T, Ono Y, Ozaki N: Influence of HTR2A polymorphisms and parental rearing on the personality traits in healthy Japanese, in XVIIth World Congress on Psychiatric Genetics. San Diego, 2009
- 109) Kushima I, Aleksic B, Ito Y, Nakamura Y, Nakamura K, Mori N, Kikuchi M, Inada T, Kunugi H, Nanko S, Kato T, Yoshikawa T, Ujike H, Suzuki M, Iwata N, Ozaki N: Association Study of ubiquitin-specific peptidase 46 (USP46) with bipolar disorder and schizophrenia in a Japanese population, in The 54th annual meeting of the Japan society of human genetics. Tokyo, 2009
- 110) Kushima I, Aleksic B, Ito Y, Nakamura Y, Iwata N, Ozaki N: FURTHER EVIDENCE FOR ASSOCIATION OF WNT PATHWAY RELATED GENES WITH SCHIZOPHRENIA, in WCPG 2009. San Diego, 2009
- 111) Koide T, Kushima I, Ito Y, Aleksic B, Nakamura Y, Inada T, Iwata N, Ozaki N: Dense association mapping of dihydropyrimidinase-like 2 (DPYSL2) gene in susceptibility to schizophrenia in the Japanese population, in XVII World Congress on Psychiatric Genetics (WCPG) 2009. San Diego, California, USA, 2009
- 112) Aleksic B, Kushima I, Ito Y, Nakamura Y, Hashimoto R, Ujike H, Inada T, Suzuki M, Iwata N, Ozaki N: An association study of tagging SNPs of RAB23 and schizophrenia in Japanese population, in XVII World Congress on Psychiatric Genetics (WCPG). San Diego, US, 2009

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
該当なし。
2. 実用新案登録
該当なし。
3. その他
該当なし。

研究成果の刊行に関する一覧表

【平成19年度】

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|--|--|--|--------------|---------|------|
| Aidaraliev N J, Kamino K, Kimura R, Yamamoto M, Morihara T, Kazui H, Hashimoto R, Tanaka T, Kudo T, Kida T, Okuda J I, Uema T, Yamagata H, Miki T, Akatsu H, Kosaka K, Takeda M. | Dynamin 2 gene is a novel susceptibility gene for late-onset Alzheimer disease in non-APOE-epsilon4 carriers | J Hum Genet | 53(4) | 296-302 | 2008 |
| Ikeda, M, Takahashi, N, Saito S, Aleksic B, Watanabe Y, Nunokawa A, Yamanouchi Y, Kitajima T, Kinoshita Y, Kishi T, Kawashima K, Hashimoto R, Ujike H, Inada T, Someya T, Takeda M, Ozaki N, Iwata N | Failure to replicate the association between NRG1 and schizophrenia using Japanese large-sample | Schizophr Res | 101 (1-3) | 1-8 | 2008 |
| Numata S, Ueno S, Iga J, Nakataki M, Tanahashi T, Itakura M, Sano A, Ohi K, Hashimoto R, Takeda M, Ohmori T. | No association between the NDE1 gene and schizophrenia in the Japanese Population | Schizophr Res | 99(1-3) | 367-9 | 2008 |
| Hashimoto R, Mori T, Nemoto K, Moriguchi Y, Noguchi H, Nakabayashi T, Hori H, Harada S, Kunugi H, Saitoh O, Ohnishi T. | Abnormal microstructures of the basal ganglia in schizophrenia revealed by diffusion tensor imaging | The World Journal of Biological Psychiatry | 10(1) | 65-9 | 2008 |
| Hori H, Noguchi H, Hashimoto R, Nakabayashi T, Saitoh O, Murray RM, Okabe S, Kunugi H. | Personality in schizophrenia assessed with the Temperament and Character Inventory (TCI) | Psychiatry Res | 160(2) | 175-83 | 2008 |
| Midorikawa A, Hashimoto R, Noguchi H, Saitoh O, Kunugi H, Nakamura K. | Impairment of motor dexterity in schizophrenia assessed by a novel finger-movement test | Psychiatry Research | 159(3) | 281-9 | 2008 |
| Hori H, Noguchi H, Hashimoto R, Saitoh O, Okabe S, Kunugi H. | IQ decline and memory impairment in Japanese patients with chronic schizophrenia | Psychiatry Res | 158 | 251-255 | 2008 |
| Masui T, Hashimoto R, Kusumi I, Suzuki K, Tanaka T, Nakagawa S, Suzuki T, Iwata N, Ozaki N, Kato T, Takeda M, Kunugi H, Koyama T. | A possible association between missense polymorphism of the Breakpoint Cluster Region gene and lithium prophylaxis in bipolar disorder | Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry | 32 | 204-208 | 2008 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|--|---|-----------------------------------|--------|-----------|------|
| Tagami S, Okochi M, Yanagida K, Ikuta A, Fukumori A, Matsumoto N, Ishizuka-Katsura Y, Nakayama T, Itoh N, Jiang J, Nishitomi K, Kamino K, Morihara T, Hashimoto R, Tanaka T, Kudo T, Chiba S, Takeda M. | Regulation of notch signaling by dynamic changes in the precision of s3 cleavage of notch-1 | Mol Cell Biol | 28(1) | 165-176 | 2008 |
| Hashimoto R, Hashimoto H, Shintani N, Chiba S, Hattori S, Okada T, Nakajima M, Tanaka K, Kawagishi N, Nemoto K, Mori T, Ohnishi T, Noguchi H, Hori H, Suzuki T, Iwata N, Ozaki N, Nakabayashi T, Saitoh O, Kosuga A, Tatsumi M, Kamijima K, Weinberger DR, Kunugi H, Baba A. | Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide is associated with schizophrenia. | Mol Psychiatry | 12 | 1026-1032 | 2007 |
| Hong K, Sugawara Y, Hasegawa H, Hayasaka I, Hashimoto R, Ito S, Inoue-Murayama M. | A new gain-of-function allele in chimpanzee tryptophan hydroxylase 2 and the comparison of its enzyme activity with that in humans and rats | Neurosci Lett | 412 | 195-200 | 2007 |
| Kimura R, Kamino K, Yamamoto M, Nuripa A, Kida T, Kazui H, Hashimoto R, Tanaka T, Kudo T, Yamagata H, Tabara Y, Miki T, Akatsu H, Kosaka K, Funakoshi E, Nishitomi K, Sakaguchi G, Kato A, Hattori H, Uema T, Takeda M. | The DYRK1A gene, encoded in chromosome 21 Down syndrome critical region, bridges between {beta}-amyloid production and tau phosphorylation in Alzheimer disease | Hum Mol Genet | 16 | 15-23 | 2007 |
| Mori T, Ohnishi T, Hashimoto R, Nemoto K, Moriguchi Y, Noguchi H, Nakabayashi T, Hori H, Harada S, Saitoh O, Matsuda H, Kunugi H. | Progressive changes of white matter integrity in schizophrenia revealed by diffusion tensor imaging | Psychiatry Research: Neuroimaging | 154(2) | 133-145 | 2007 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|--|--|--------------------|---------|---------|------|
| Numata S, Ueno S, Iga J, Yamauchi K, Hongwei S, Hashimoto R, Takeda M, Kunugi H, Itakura M, Ohmori T. | Gene expression in the peripheral leukocytes and association analysis of PDLIM5 gene in schizophrenia | Neurosci Lett | 415 | 28-33 | 2007 |
| Hashimoto R, Noguchi H, Hori H, Ohi K, Yasuda Y, Takeda M, Kunugi H. | A possible association between the Val158Met polymorphism of the catechol-O-methyl transferase gene and the personality trait of harm avoidance in Japanese healthy subjects | Neurosci lett | 428(1) | 17-20 | 2007 |
| Kunugi H, Tanaka M, Hori H, Hashimoto R, Saitoh O, Hironaka N. | Prepulse inhibition of acoustic startle in Japanese patients with chronic schizophrenia | Neuroscience Res | 59(1) | 23-28 | 2007 |
| Hashimoto R, Tankou S, Takeda M, Sawa A. | Postsynaptic density: A key convergent site for schizophrenia susceptibility factors and possible target for drug development | Drugs Today (Barc) | 43(9) | 645-654 | 2007 |
| Kishimoto M, Ujike H, Motohashi Y, Tanaka Y, Okahisa Y, Kotaka T, Harano M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Hori T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M, Ozaki N, Kuroda S | The Dysbindin Gene (DTNBP1) Is Associated with Methamphetamine Psychosis | Biol Psychiatry | 63 (2) | 191-196 | 2008 |
| Yoshida K, Higuchi H, Ozaki N | Successful treatment of severe antidepressant-induced nausea with a combination of milnacipran and olanzapine | Pharmacopsychiatry | 40 (2) | 84-5 | 2007 |
| Yoshida K, Higuchi H, Kamata M, Takahashi H, Inoue K, Suzuki T, Itoh K, Ozaki N | The G196A polymorphism of the brain-derived neurotrophic factor gene and the antidepressant effect of milnacipran and fluvoxamine | J Psychopharmacol | 21 (6) | 650-6 | 2007 |
| Tomita Y, Ikeda M, Mutoh H, Inada T, Iwata N, Ozaki N, Honda H | Association study between Apolipoprotein L and schizophrenia by exhaustive and rule-based combination analysis for identification of multilocus interactions | J Biosci Bioeng | 103 (4) | 303-10 | 2007 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|---|---|--------------------------|----------|---------|------|
| Miura H, Kitagami T, Ozaki N | Suppressive effect of paroxetine, a selective serotonin uptake inhibitor, on tetrahydrobiopterin levels and dopamine as well as serotonin turnover in the mesoprefrontal system of mice | Synapse | 61 (9) | 698-706 | 2007 |
| Matsuzawa D, Hashimoto K, Miyatake R, Shirayama Y, Shimizu E, Maeda K, Suzuki Y, Mashimo Y, Sekine Y, Inada T, Ozaki N, Iwata N, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Hata A, Sawa A, Iyo M | Identification of Functional Polymorphisms in the Promoter Region of the Human PICK1 Gene and Their Association With Methamphetamine Psychosis | Am J Psychiatry | 164 (7) | 1105-14 | 2007 |
| Maeno N, Takahashi N, Saito S, Ji X, Ishihara R, Aoyama N, Branko A, Miura H, Ikeda M, Suzuki T, Kitajima T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Iwata N, Inada T, Ozaki N | Association of SOX10 with schizophrenia in the Japanese population | Psychiatr Genet | 17 (4) | 227-231 | 2007 |
| Maeno N, Takahashi N, Saito S, Ji X, Branko A, Ishihara R, Yoshida K, Inada T, Iidaka T, Ozaki N | Association study between the transferrin gene and schizophrenia in the Japanese population | Neuroreport | 18 (5) | 517-20 | 2007 |
| Kimura H, Tonoike T, Muroya T, Yoshida K, Ozaki N | Age of onset has limited association with body mass index at time of presentation for anorexia nervosa: Comparison of peak-onset and late-onset anorexia nervosa groups | Psychiatry Clin Neurosci | 61 (6) | 646-50 | 2007 |
| Ito M, Yoshida K, Kimura H, Ozaki N, Kurita K | Successful Treatment of Trigeminal Neuralgia With Milnacipran | Clin Neuropharmacol | 30 (3) | 183-185 | 2007 |
| Ishiguro H, Horiuchi Y, Koga M, Inada T, Iwata N, Ozaki N, Ujike H, Muratake T, Someya T, Arinami T | RGS4 is not a susceptibility gene for schizophrenia in Japanese: association study in a large case-control population | Schizophr Res | 89 (1-3) | 161-4 | 2007 |
| Ikeda M, Ozaki N, Yamanouchi Y, Suzuki T, Kitajima T, Kinoshita Y, Inada T, Iwata N | No association between the glutamate decarboxylase 67 gene (GAD1) and schizophrenia in the Japanese population | Schizophr Res | 91 (1-3) | 22-6 | 2007 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|--|---|---------------------------------------|---------|---------|------|
| Ikeda M, Ozaki N, Suzuki T, Kitajima T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Kishi T, Sekine Y, Iyo M, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Inada T, Iwata N | Possible association of beta-arrestin 2 gene with methamphetamine use disorder, but not schizophrenia | Genes Brain Behav | 6 (1) | 107-12 | 2007 |
| Horiuchi Y, Ishiguro H, Koga M, Inada T, Iwata N, Ozaki N, Ujike H, Muratake T, Someya T, Arinami T | Support for association of the PPP3CC gene with schizophrenia | Mol Psychiatry | 12 (10) | 891-893 | 2007 |
| Aleksic B, Ishihara R, Takahashi N, Maeno N, Ji X, Saito S, Inada T, Ozaki N | Gap junction coding genes and schizophrenia: a genetic association study | J Hum Genet | 52 (6) | 498-501 | 2007 |
| Kishi T, Ikeda M, Kitajima T, Suzuki T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Kawashima K, Ozaki N, Iwata N | No association between prostate apoptosis response 4 gene (PAWR) in schizophrenia and mood disorders in a Japanese population | Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet | 147B(4) | 531-4 | 2007 |
| Norton N, Williams HJ, Dwyer S, Carroll L, Peirce T, Moskvina V, Segurado R, Nikolov I, Williams NM, Ikeda M, Iwata N, Owen MJ, O'donovan MC | Association analysis of AKT1 and schizophrenia in a UK case control sample | Schizophr Res | 93(1-3) | 58-65 | 2007 |

【平成 20 年度】

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|---|---|---------------|-----------|------|------|
| Ohii K, Hashimoto R, Yasuda Y, Yoshida T, Takahashi H, Iike N, Fukumoto M, Takamura H, Iwase M, Kamino K, Ishii R, Kazui H, Sekiyama R, Kitamura Y, Azechi M, Ikezawa K, Kurimoto R, Kamagata E, Tanimukai H, Tagami S, Morihara T, Ogasawara M, Okochi M, Tokunaga H, Numata S, Ikeda M, Ohnuma T, Ueno S, Fukunaga T, Tanaka T, Kudo T, Arai H, Ohmori T, Iwata N, Ozaki N, Takeda M. | Association study of the G72 gene with schizophrenia in a Japanese population: a multicenter study. | Schizophr Res | 109 (1-3) | 80-5 | 2009 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|---|---|--|--------------|---------------|------|
| Ikezawa, K, Iwase, M, Ishii R, Azechi M, Canuet L, Ohi K, Yuka Yasuda, Iike N, Kurimoto R, Takahashi H, Nakahachi T, Sekiyama R, Yoshida T, Kazui H, Hashimoto R, Takeda M. | Impaired regional hemodynamic response in schizophrenia during multiple prefrontal activation tasks: a two-channel near-infrared spectroscopy study | Schizophr Res | 108 (1-3) | 93-103 | 2009 |
| Hashimoto R, Mori T, Nemoto K, Moriguchi Y, Noguchi H, Nakabayashi T, Hori H, Harada S, Kunugi H, Saitoh O, Ohnishi T. | Abnormal microstructures of the basal ganglia in schizophrenia revealed by diffusion tensor imaging. | The World Journal of Biological Psychiatry | 10(1) | 65-9 | 2009 |
| Takao K, Toyama K, Nakanishi K, Hattori S, Takamura H, Takeda M, Miyakawa T, Hashimoto R. | Impaired long-term memory retention and working memory in sdy mutant mice with a deletion in Dtnbpl, a susceptibility gene for schizophrenia. | Mol Brain | 1(1) | 11 | 2008 |
| Takahashi H, Iwase M, Ishii R, Ohi K, Fukumoto M, Azechi M, Ikezawa K, Kurimoto R, Canuet L, Nakahachi T, Iike N, Tagami S, Morihara T, Okochi M, Tanaka T, Kudo T, Yoshida T, Yasuda Y, Hashimoto R, Takeda M. | Impaired prepulse inhibition and habituation of acoustic startle response in Japanese patients with schizophrenia. | Neuroscience Res | 62(3) | 187-197 | 2008 |
| Ohi K, Hashimoto R, Sugai F, Yasuda Y, Tagami S, Takamura H, Morihara T, Okochi M, Tanaka T, Kudo T, Sakoda S, Takeda M. | Difficulty identifying spinocerebellar ataxia 17 from preceding psychiatric symptoms. | Psychiatry Clin Neurosci | 62(5) | 625 | 2008 |
| Kawashima K, Kishi T, Ikeda M, Kitajima T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Takahashi N, Saito S, Ohi K, Yasuda Y, Hashimoto R, Takeda M, Inada T, Ozaki N, Iwata N. | No Association between Tagging SNPs of SNARE Complex Genes (STX1A, VAMP2 and SNAP25) and Schizophrenia in a Japanese Population. | Am J Med Genet. | 147B(7) : | 1327-13 31 | 2008 |
| Hattori S, Murotani T, Matsuzaki S, Ishizuka T, Kumamoto N, Takeda M, Tohyama M, Yamatodani A, Kunugi H, Hashimoto R. | Behavioral abnormalities and dopamine reductions in sdy mutant mice with a deletion in Dtnbpl, a susceptibility gene for schizophrenia. | Biochem Biophys Res Commun | 373(2) | 298-302 | 2008 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|---|--|--|---------|------------|------|
| Ikeda, M, Takahashi, N, Saito S, Aleksic B, Watanabe Y, Nunokawa A, Yamanouchi Y, Kitajima T, Kinoshita Y, Kishi T, Kawashima K, Hashimoto R, Ujike H, Inada T, Someya T, Takeda M, Ozaki N, Iwata N, | Failure to replicate the association between NRG1 and schizophrenia using Japanese large-sample. | Schizophr Res | 101 | 1-8 | 2008 |
| Masui T, Hashimoto R, Kusumi I, Suzuki K, Tanaka T, Nakagawa S, Suzuki T, Iwata N, Ozaki N, Kato T, Takeda M, Kunugi H, Koyama T. | A possible association between missense polymorphism of the Breakpoint Cluster Region gene and lithium prophylaxis in bipolar disorder | Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry | 32 | 204-208 | 2008 |
| 岡本長久 | 難治性うつ病への対応 | 医学の歩み | 219(13) | 955-962 | 2006 |
| 岡本長久、坂本広太、長房裕子 | Star*D 研究から得られるものーアメリカでのうつ病の sequential treatment を知るー | 精神科治療学 | 23(03) | 277-284 | 2007 |
| 佐藤真由美、岡本長久 | 抗うつ薬と電気けいれん療法の併用療法 (Combination Therapy of Electroconvulsive Therapy and Antidepressants) | 臨床精神薬理 | 12(02) | 221-227 | 2009 |
| 松田太郎、長房裕子、坂本広太、岡本長久 | 双極性障害の心理療法 | 心療内科 | 12(3) | p. 192-202 | 2008 |
| Yoshimi A, Takahashi N, Saito S, Ito Y, Aleksic B, Usui H, Kawamura Y, Waki Y, Yoshikawa T, Kato T, Iwata N, Inada T, Noda Y, Ozaki N | Genetic analysis of the gene coding for DARPP-32 (PPP1R1B) in Japanese patients with schizophrenia or bipolar disorder | Schizophr Res 100 | (1-3) | 334-41 | 2008 |
| Takahashi T, Suzuki M, Tsunoda M, Kawamura Y, Takahashi N, Tsuneki H, Kawasaki Y, Zhou SY, Kobayashi S, Sasaoka T, Seto H, Kurachi M, Ozaki N | Association between the brain-derived neurotrophic factor Val66Met polymorphism and brain morphology in a Japanese sample of schizophrenia and healthy comparisons | Neurosci Lett | 435 | 34-39 | 2008 |
| Takahashi T, Suzuki M, Tsunoda M, Kawamura Y, Takahashi N, Maeno N, Kawasaki Y, Zhou SY, Hagino H, Niu L, Tsuneki H, Kobayashi S, Sasaoka T, Seto H, Kurachi M, Ozaki N | The association of genotypic combination of the DRD3 and BDNF polymorphisms on the adhesion interthalamica and medial temporal lobe structures | Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry | 32 (5) | 1236-42 | 2008 |
| Saito S, Takahashi N, Maeno N, Ito Y, Aleksic B, Usui H, Iidaka T, Inada T, Ozaki N | An association study of tachykinin receptor 3 gene with schizophrenia in the Japanese population. | Neuroreport | 19 (4) | 471-473 | 2008 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|---|---|---------------------------------------|-----------|---------|------|
| Ohtsuki T, Koga M, Ishiguro H, Horiuchi Y, Arai M, Niizato K, Itokawa M, Inada T, Iwata N, Iritani S, Ozaki N, Kunugi H, Ujike H, Watanabe Y, Someya T, Arinami T | A polymorphism of the metabotropic glutamate receptor mGluR7 (GRM7) gene is associated with schizophrenia. | Schizophr Res | 101 (1-3) | 9-16 | 2008 |
| Ohtsuki T, Horiuchi Y, Koga M, Ishiguro H, Inada T, Iwata N, Ozaki N, Ujike H, Watanabe Y, Someya T, Arinami T | Association of polymorphisms in the haplotype block spanning the alternatively spliced exons of the NTNG1 gene at 1p13.3 with schizophrenia in Japanese populations. | Neurosci Lett | 435 (3) | 194-197 | 2008 |
| Nunokawa A, Watanabe Y, Kitamura H, Kaneko N, Arinami T, Ujike H, Inada T, Iwata N, Kunugi H, Itokawa M, Ozaki N, Someya T | Large-scale case-control study of a functional polymorphism in the glutamate receptor, metabotropic 3 gene in patients with schizophrenia. | Psychiatry Clin Neurosci | 62 (2) | 239-40 | 2008 |
| Kuratomi G, Iwamoto K, Bundo M, Kusumi I, Kato N, Iwata N, Ozaki N, Kato T | Aberrant DNA methylation associated with bipolar disorder identified from discordant monozygotic twins. | Mol Psychiatry | 13 (4) | 429-41 | 2008 |
| Kishi T, Kitajima T, Ikeda M, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Kawashima K, Okochi T, Ozaki N, Iwata N | Association analysis of nuclear receptor Rev-erb alpha gene (NR1D1) with mood disorders in the Japanese population. | Neurosci Res | 62 (4) | 211-5 | 2008 |
| Kishi T, Ikeda M, Kitajima T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Kawashima K, Okochi T, Inada T, Ozaki N, Iwata N | Genetic association analysis of tagging SNPs in alpha4 and beta2 subunits of neuronal nicotinic acetylcholine receptor genes (CHRNA4 and CHRNB2) with schizophrenia in the Japanese population. | J Neural Transm | 115 (10) | 1457-61 | 2008 |
| Kishi T, Ikeda M, Kitajima T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Kawashima K, Inada T, Harano M, Komiyama T, Hori T, Yamada M, Iyo M, Sora I, Sekine Y, Ozaki N, Ujike H, Iwata N | Glutamate cysteine ligase modifier (GCLM) subunit gene is not associated with methamphetamine-use disorder or schizophrenia in the Japanese population. | Ann N Y Acad Sci | 1139 | 63-9 | 2008 |
| Kishi T, Ikeda M, Kitajima T, Suzuki T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Kawashima K, Ozaki N, Iwata N | No association between prostate apoptosis response 4 gene (PAWR) in schizophrenia and mood disorders in a Japanese population. | Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet | 147B (4) | 531-4 | 2008 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|---|--|---------------------------------------|----------|---------|------|
| Kakiuchi C, Ishiwata M, Nanko S, Ozaki N, Iwata N, Umekage T, Tochigi M, Kohda K, Sasaki T, Imamura A, Okazaki Y, Kato T | Up-regulation of ADM and SEPX1 in the lymphoblastoid cells of patients in monozygotic twins discordant for schizophrenia. | Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet | 147B (5) | 557-64 | 2008 |
| Ji X, Takahashi N, Saito S, Ishihara R, Maeno N, Inada T, Ozaki N | Relationship between three serotonin receptor subtypes (HTR3A, HTR2A and HTR4) and treatment-resistant schizophrenia in the Japanese population. | Neurosci Lett | 435 (2) | 95-8 | 2008 |
| Ito Y, Yamada S, Takahashi N, Saito S, Yoshimi A, Inada T, Noda Y, Ozaki N | No association between the protein tyrosine phosphatase, receptor-type, Z Polypeptide 1 (PTPRZ1) gene and schizophrenia in the Japanese population. | Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet | 147B (7) | 1013-8 | 2008 |
| Ito Y, Nakamura Y, Takahashi N, Saito S, Aleksic B, Iwata N, Inada T, Ozaki N | A genetic association study of the FXYP domain containing ion transport regulator 6 (FXYP6) gene, encoding phosphohippolin, in susceptibility to schizophrenia in a Japanese population. | Neurosci Lett | 438 (1) | 70-5 | 2008 |
| Ikeda M, Hikita T, Taya S, Uruguchi-Asaki J, Toyo-oka K, Wynshaw-Boris A, Ujike H, Inada T, Takao K, Miyakawa T, Ozaki N, Kaibuchi K, Iwata N | Identification of YWHAE, a gene encoding 14-3-3epsilon, as a possible susceptibility gene for schizophrenia. | Hum Mol Genet | 17 (20) | 3212-22 | 2008 |
| Deng X, Sagata N, Takeuchi N, Tanaka M, Ninomiya H, Iwata N, Ozaki N, Shibata H, Fukumaki Y | Association study of polymorphisms in the neutral amino acid transporter genes SLC1A4, SLC1A5 and the glycine transporter genes SLC6A5, SLC6A9 with schizophrenia. | BMC Psychiatry | 8 | 58 | 2008 |
| Aleksic B, Ikeda M, Ishihara R, Saito S, Inada T, Iwata N, Ozaki N | No association between the oligodendrocyte-related gene PLP1 and schizophrenia in the Japanese population. | J Hum Genet | 53 (9) | 863-6 | 2008 |
| Albalushi T, Horiuchi Y, Ishiguro H, Koga M, Inada T, Iwata N, Ozaki N, Ujike H, Watanabe Y, Someya T, Arinami T | Replication study and meta-analysis of the genetic association of GRM3 gene polymorphisms with schizophrenia in a large Japanese case-control population. | Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet | 47 (3) | 392-6 | 2008 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|--|--|-------------------|---------------|---------|--------------|
| Ikeda M, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Kitajima T, Yoshimura R, Hashimoto S, O'Donovan MC, Nakamura J, Ozaki N, Iwata N. | Variants of dopamine and serotonin candidate genes as predictors of response to risperidone treatment in first-episode schizophrenia. | Pharmacogenomics. | 9(10) | 1437-43 | 2008 |
| O'Donovan MC, Norton N, Williams H, Peirce T, Moskvina V, Nikolov I, Hamshere M, Carroll L, Georgieva L, Dwyer S, Holmans P, Marchini JL, Spencer CC, Howie B, Leung HT, Giegling I, Hartmann AM, Möller HJ, Morris DW, Shi Y, Feng G, Hoffmann P, Propping P, Vasilescu C, Maier W, Rietschel M, Zammit S, Schumacher J, Quinn EM, Schulze TG, Iwata N, Ikeda M, Darvasi A, Shifman S, He L, Duan J, Sanders AR, Levinson DF, Adolfsson R, Osby U, Terenius L, Jönsson EG, Cichon S, Nöthen MM, Gill M, Corvin AP, Rujescu D, Gejman PV, Kirov G, Craddock N, Williams NM, Owen MJ. | Analysis of 10 independent samples provides evidence for association between schizophrenia and a SNP flanking fibroblast growth factor receptor 2. | Mol Psychiatry. | 14(1) Epub | 30-6 | 2009 2008 |

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|--|--|------------|-------|--------|------|
| O' Donovan MC, Craddock N, Norton N, Williams H, Peirce T, Moskvina V, Nikolov I, Hamshere M, Carroll L, Georgieva L, Dwyer S, Holmans P, Marchini JL, Spencer CC, Howie B, Leung HT, Hartmann AM, Möller HJ, Morris DW, Shi Y, Feng G, Hoffmann P, Propping P, Vasilescu C, Maier W, Rietschel M, Zammit S, Schumacher J, Quinn EM, Schulze TG, Williams NM, Giegling I, Iwata N, Ikeda M, Darvasi A, Shifman S, He L, Duan J, Sanders AR, Levinson DF, Gejman PV; Molecular Genetics of Schizophrenia Collaboration, Gejman PV, Sanders AR, Duan J, Levinson DF, Buccola NG, Mowry BJ, Freedman R, Amin F, Black DW, Silverman JM, Byerley WF, Cloninger CR, Cichon S, Nöthen MM, Gill M, Corvin A, Rujescu D, Kirov G, Owen MJ. | Identification of loci associated with schizophrenia by genome-wide association and follow-up. | Nat Genet. | 40(9) | 1053-5 | 2008 |

【平成 21 年度】

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|--|--|-------------------|----------|----------|-----|
| Mori K, Okochi M, Tagami S, Nakayama T, Yanagida K, Kodama T, Tatsumi S, Fujii K, Tanimukai H, Hashimoto R, Morihara T, Tanaka T, Kudo T, Funamoto S, Ihara Y, Takeda M. | The production ratios of AICD ϵ 51 and A β 42 by intramembrane proteolysis of β APP do not always change in parallel. | Psychogeriatrics. | in press | in press | |